

平成 28 年度 第 2 回大阪地方会 活動報告

平成 28 年 7 月 23 日 (土)

於：ベルランド総合病院 地下 1F AIF ホール

平成 28 年 7 月 23 日 (土) ベルランド総合病院 AIF ホールにて、平成 28 年度 第 2 回大阪地方会を開催致しました。当日は真夏日となり、参加者の方が来られるときは汗が流れおちる天候でありましたが、そんな中、会員 29 名、非会員 38 名の合計 67 名の方にご参加いただきました。世話人一同感謝申し上げます。

はじめに、開催病院であるベルランド総合病院 管理部長である武部克広様より、医師事務作業補助者は、診療現場にいてなくてはならない存在となっており、その皆様の知識向上のために地方会を自施設で開催できることをうれしく思っているとのこと。今後も皆様の医師事務作業補助者という職種の発展と成長を願っていますと熱く力強い激励いただきました。



続いて、医療安全管理者であり経験と知識を多く講演されてこられたベルランド総合病院 クオリティー管理センター部長の楠本茂雅先生より『患者のためのチーム医療の実践～医師事務作業補助者に求められるノンテクニカルスキル～』と題して、楽しくご講演いただきました。

動画を用いて、医療現場での対応の良い例と悪い例を何例か提示され参加者の皆さんと一緒に考えました。医療現場は、多くの職種がそれぞれの役割のもとチーム医療を実践しています。その中で起きる事故やインシデントの多くはコミュニケーションエラーであって 70～80%を占めているとのこと。動画を見られて、私だったらもっと違った確認方法ができると思われた方も多くいらっしゃったと思います。

今回のお話で、多くの人がかかわる日常業務の中で、いかにコミュニケーションが大切であるかということと、私たち医師事務作業補助者がチーム医療の一員として、医療現場での役割をしっかりと担っていく必要があることを、改めて考えるよい機会であったと思います。

後半は恒例となっておりますグループディスカッションで、題材を“書類作成業務”“教

育”“診療支援”“テーマフリー”とし最後にグループ毎に発表いただきました。

書類作成業務では、期限に対する医師とのかかわりでは、その解決方法として医師の特徴や癖などをつかみ、出来るだけスムーズに作成支援が行えるよう工夫しているとの発表でした。教育では、教育を行うための時間確保が困難であり、スタッフのモチベーションを維持するため声かけを心がけているとの発表でした。



診療支援とフリーテーマのグループでは、診療支援やNCD、学会データの作成など業務を広げ深めていく半面、専門職とのかかわりの中で専門用語、病名や略語に対する知識が不足していることが課題であるとあがっていました。

最後に、大阪府支部の西川支部長より、改正の度に評価されている医師事務作業補助体制加算は、ここにいらっしゃる皆様の努力と頑張りの成果だということ、ひとりひとりの力は微力でも、みんなで力を合わせれば大きな力になるので、医師事務作業補助の発展のために、是非皆様に会員になっていただきたいと、熱い思いが語られました。

医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会
大阪府支部 副支部長 事務局
府中病院 堀田 恵